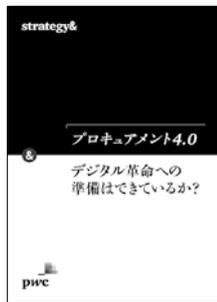


PwC Japan グループ調査／レポートのご案内 (2016年9月1日現在)

PwCでは、会計、税務、経営に関連するさまざまな調査レポートおよび海外拠点からの各種出版物を発行しています。ここでは、その一部をご紹介します。



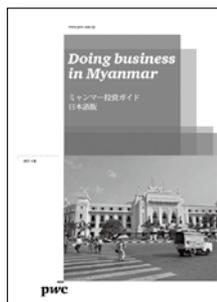
プロキアメント4.0 — デジタル革命への準備はできているか？

(2016年7月)
 インダストリー4.0の最先端技術とデータ管理が調達の戦略および効果を定義づけたのが、「プロキアメント4.0」という新たなコンセプトである。本レポートでは、このコンセプトが調達のバリュープロポジションにもたらす影響を検討する必要性を説明し、それらの影響に対して適切に対処するために必須となる組織変化に対し、企業がいかに適用していくべきかを明らかにするフレームワークを提案する。



Creating a Strategy That Works — 「使える戦略」を作るには

(2016年6月)
 PwCの戦略コンサルティングサービスを担うStrategy&の本レポートは、Harvard Business Review Pressより2016年2月に発行されたStrategy That Worksのエッセンスをまとめたものです。先見力のある企業が身に着けている、特徴のあるケバビリティを構築・活用するための、従来型の常識とは異なる5つの手法を考察しています。



ミャンマー投資ガイド (Doing Business in Myanmar)

(2016年8月)
 ミャンマー投資ガイドは、ミャンマー進出を検討している皆さまを主な対象として、ミャンマーにおける外国投資に関する規制、各種優遇措置、会計監査制度、税制一般、人事・雇用法などの情報についてまとめたものです。



RPAによる次世代のオペレーションエクセレンス

(2016年8月)
 ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)が労働力にもたらす業務変革とは？ 硬化化したオペレーションへのRPA導入を成功させるには、従業員を巻き込んだ社内の組織や文化の変革が重要です。



Risk in review — 長期間にわたり戦い抜くために

(2016年8月)
 今回で5回目を迎えたリスク調査では、リスクレジリエンスとリスクアジリティのバランスをとることの重要性について言及しています。このバランスを保ち、高めていくことが企業を持続的な成長へと導くと説明しています。



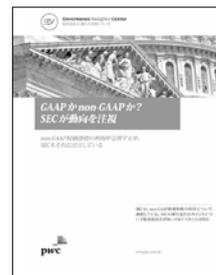
Total Retail 2016 求められているものは、革命

(2016年8月)
 世界5大陸25カ国・地域の2万3,000人のオンライン買い物客を対象に実施した2016年度のPwC世界トータルリテール調査(PwC Global Total Retail Survey)では、小売業の次なる革命として8つの動向があることを明らかにしています。



ガバナンスを考える：CEO後継者計画について

(2016年8月)
 CEOの後継者計画について、世界的上場会社上位2,500位を対象とした調査結果に基づき、最新のトレンドを紹介します。



監査委員会 優れた実務シリーズ～GAAPかnon-GAAPか？ SECが動向を注視

(2016年8月)
 企業によるnon-GAAP財務指標の開示が拡大する中、SECなど証券監督当局によるモニタリングが強化されています。このような状況を踏まえ、監査委員会が知っておくべき留意点や監査委員会に求められる役割について解説します。



経済犯罪実態調査 2016 (グローバル翻訳版) 経済犯罪 — リスクに対する焦点を変える

(2016年8月)
 世界115カ国6,337社から回答を得たPwCの「経済犯罪実態調査 2016」によると、経済犯罪の被害に遭った企業の割合は全体の36%でした。サイバー犯罪は増加が続いておりランキングの2位に上昇しました。



グローバルフィンテックレポート — 曖昧になる境界：フィンテックは金融業界をどのように形成するか

(2016年7月)
 従来型金融機関はビジネスの4分の1をフィンテック企業に奪われると危惧。46カ国544名の金融業界関係者およびフィンテック企業より得た調査結果から、フィンテックが金融業界に及ぼし得る影響や業界の今後について分析した報告書です。



**新たなレンズを通してビジネスを考える
CEOはサステナビリティを
どう捉えているか**

(2016年7月)
PwCが実施した第19回世界CEO意識調査の結果は、企業のサステナビリティ(持続可能性)に関する問題について、企業のCEOがどのように考え、そしてそれをコアビジネスに組み入れようとしているか示しています。



**グローバル エンタテインメント &
メディア アウトルック2016-2020**

(2016年7月)
PwCの年次調査「グローバル エンタテインメント & メディア アウトルック」は17年間にわたり、広告収入と消費者支出の動向を中心に、専門家による解説とインサイトを提供してきましたが、今年からは strategy+business と協力して今後の予測と鋭い考察をお届けします。



**日本における株主アクティビズム
—アクティビストの戦略から学ぶ
株主価値向上と防衛策**

(2016年7月)
アクティビストが日本で大々的に成功を収めると信じるか否かは別として、アクティビストの視点から自社の事業を捉えることは有益です。



**2016年内部監査全世界実態調査
リーダーシップの重要性：利害関係者の高まる期待に
内部監査の「真北」を目指して進む**

(2016年7月)
PwCの第12回内部監査全世界実態調査は、世界中の約1,700名の内部監査部門長や利害関係者に調査した結果をとりまとめたものです。内部監査のリーダーシップと組織への価値貢献とは相関関係にあることがわかりました。



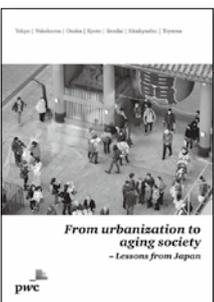
**規制強化の潮流
世界中で高まりを見せる
贈収賄防止運動**

(2016年7月)
贈収賄取引に対する規制当局の不正防止の要求レベルは高まっています。企業は、実際に摘発された場合の影響を十分に考慮したうえで、当局が要求するコンプライアンス要件に戦略的に対応する必要があります。



**取締役および投資家向けインサイト
取締役会の構成 ~最近の潮流~**

(2016年7月)
「取締役および投資家向けインサイト」では、取締役会の構成に対する取締役と投資家の見解を概説し、取締役会の刷新に関する重要課題を明らかにしています。



**From urbanization to aging society
—Lessons from Japan**

(2016年7月)
本レポートは、途上国都市の都市課題の解決に貢献するとともに、日本のインフラ輸出を促進するきっかけとなる日本の都市ソリューションのポートフォリオを紹介する英語レポートです。



**新しいトリプルA経営への道筋
サステナビリティ+レジリエンスが
生み出す企業の成功法則**

(2016年7月)
従来のCSRを超えた戦略性の高い社会・環境問題へ対応、つまり「コーポレートサステナビリティ」と、柔軟な適応力を発揮するための「組織的なレジリエンス」を高める3つの原則、新しいトリプルAが求められています。



**アジア太平洋地域における
ファンドパスポート構想
全体像と各国ファンド業界の概況**

(2016年7月)
アジア太平洋地域では、アジア地域ファンドパスポート (ARFP)、ASEAN CIS フレームワーク、中国・香港ファンド相互承認制度 (MRF) といったファンドパスポート構想が実現しつつあります。



**インダストリー4.0：
デジタルエンタープライズの構築**

(2016年7月)
本報告書では、インダストリー4.0に代表されるデジタル化をけん引するテクノロジーの移行の現状に関する分析とともに、企業にとってインダストリー4.0に代表されるデジタル化を成功させるためのステップと考慮されるべき必要な戦略についても概説しています。